## わたしたちの使命は

## なぜ

Back Ground

今、地球上では、毎日100種類以上の生物が 人知れず絶滅していると推定されています。 日本でも、絶滅の恐れのある動植物は、3,155種。 クマタカの繁殖成功率は、20.8%と低下傾向にあり、 両生類・爬虫類では、32.5%がレッドデータに加えられ、 絶滅の恐れがある動植物の生息・生育地は、 その半数が、里地里山地域に含まれています。

私たちは、初めて人類が引き起こす6度目の大絶滅を 防ぐことができるのでしょうか・・・・?

## なにを

Our Goal

このような現実を自分のこととして捉え、 私たちは、次のような社会的使命を持つ CEED 生態教育センターを設立しました。

ふるさとの野山における生物多様性を保全する中で、 生態系の健全な発展を図り、持続可能な社会形成を維持するために、 広く市民、企業、行政との連携、協働のもとに、 その生息域である自然環境の保全と回復に努め さらには自然と共生する地域づくりに、主体的かつ継続的に関わり、 社会全体の利益の増進に資することを目指します。

# どのように

Our Policy

活動の基本的理念は、

環境との関わり(環境のエコロジー)

社会との関わり(社会のエコロジー)

そして自らの精神のあり方(こころのエコロジー)

の三つの視点をもつ生態的哲学(エコゾフィー)の実践におきます。 この哲学を教育的に展開する概念が、

「生態教育=エコロジカル・エデュケィション」であり、

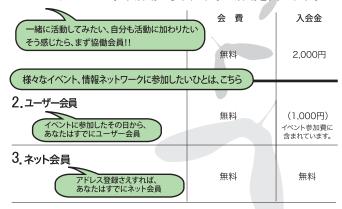
野生生物のための教育と持続可能な未来のための教育を軸足に、幅広い概念として生態教育を捉え、実践していきます。

## 関わり方は

会費は無料! 登録制です。 (皆様のご寄付をお待ちしております。) 事業活動やイベント情報などは、主にWEBサイトでお知らせします。

#### 1.協働会員

パートナーとして事業活動に参画し、その活動を支えます。



#### 私たちは、他者への共感の輪を広げ ネットワークを紡ぎ合わせます。

·理事長 小河原 孝生 (株)生態計画研究所 代表取締役

 ・副理事長
 福井草一
 樹木医、1級施工管理技士(造園・土木・建築)

 ・副理事長
 芝原達也
 水元かわせみの里 および 鎌倉公園 所長

 ・理事
 神藤 淳弘
 国営木曽三川公園自然発見館 所長

 ・理事
 永井 祐紀
 谷津干潟自然観察センター 副所長

 ・理事
 松井 真人
 (株)生態計画研究所 主任研究員

·理事 村松 亜希子 千葉大学非常勤講師

・事務局長 河野 慶子 (株)生態計画研究所 主席研究員・監事 須藤 哲 イー・フィールド代表、樹木医

お申し込み、お問い合わせ先



# N P O \*\* 人 生態教育センター

〒189-0013 東京都東村山市栄町2-28-5 小河原ビル3F TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237

E-mail: info@wildlife.ne.jp

U R L: https://www.wildlife.ne.jp/

# N P O 法 人 生態教育センター





https://www.wildlife.ne.jp/

2025.04

### わたしたちの活動は



小さなベランダから大きな庭まで、 ご家庭のお庭を対象とした 「お庭の生きもの調査」を実施して います。お庭の生きものに目を向ける ことが、市街地全体の生物多様性の 保全・向上につながっていくと考えて います。

生物多様性保全を目的とした、日本で初めての、 個人宅の「お庭」を対象とした全国規模の市民 参加型生きもの調査です。





詳しくは公式ウェブペー をご覧ください

生物多様性にとって、わたしたちのお庭はどれくらい大切なのでしょうか?

ひとつの「お庭」は小さな点でしかありませんが、 それがいくつもあったらどうでしょう。小さな点 ひとつひとつに、きっと生きものがいるはずです。 点と点が繋がって、大きなすみかとなっていく。 そう、あなたのお庭が小さな点。 そして、あなたが調査員です!



月に1回、お好きな日時にご自宅のお庭からスマートフォンで参加できます。









#### 第1回~第10回(2010年~2019年)調査結果

見つけた生きものの種数 約1,000種以上

参加者: 北海道から沖縄まで47都道府県 1,179世帯

未就学児を含む家族から80歳代の方まで

地 域:北海道から沖縄まで47都道府県

☆詳しくは上記二次元コードからウェブページをご覧ください。



野生生物の減少と その生息環境の衰退は 私たち一人ひとりの問題です。 他者(人間を含むすべての生きもの) を想うこころを育むための 「場」や「機会」を提供しています。

子どもから大人まで、楽しみながら学ぶ、 幅広いプログラムを提供します。

■国営木曽三川公園河川環境楽園 自然発見館 1995~



国営公園における環境教育の拠点として、公園管理センターとのパートナーシップのもと、年間300クラス、1万人を超える学校団体から、30万人を超える一般の幼児や小学生を含むファミリーまで、日本で最も幅広い多様な環境教育プログラムを提供しています。

千葉県

**習志野市谷津干潟自然観察センター** 指定管理:2015~

東京湾最奥部にあるラムサール 条約登録湿地・谷津干潟。都市と 自然の共生を目指して、年間約4 万3千人の来館者に自然解説や 環境教育プログラムを提供し、 地球環境の保全を担う人材育成 に取り組んでいます。



■ 東京都立葛西臨海公園 鳥類園 2004~



東京湾岸の都立公園内にある、野鳥をはじめとした野生生物のための保護区=サンクチュアリ。 土日祝日の解説活動や野鳥の生息地の管理作業、環境教育プログラムの提供などを行っています。コアジサシの繁殖地保全活動なども実施しています。

● 世田谷区立 桜丘すみれば自然庭園 2004∼

武蔵野の風景を再現するという構想のもと、昭和初期につくられた邸宅の跡地を世田谷区が取得、地域住民との協働によって自然庭園として生まれ変わりました。当センターはこに解説員(インターブリター)を派遣し、四季折々の自然情報や体験プログラムを提供しています。



- ●次の施設では、(株)生態計画研究所と協働し、プログラムを提供しています。
- 新潟県立 こども自然王国(新潟県柏崎市)
- ・大阪府堺市立 堺 自然ふれあいの森
- ·東京都葛飾区立 鎌倉公園
- ・東京都北区立 みどりと環境の情報館
- ・東京都立 小峰公園 小峰ビジターセンター
- ・山梨県早川町 南アルプス生態邑
- ・南アルプス市立 エコパ伊奈ヶ湖・東京都葛飾区立 水元かわせみの里
- ・東京都北区立 自然ふれあい情報館
- 国営昭和記念公園



一般の方から専門家を目指す方まで 幅広い年齢やキャリアの方に 感性と科学を融合し フィールド体験を通して より深い学びを引き出します。

# 深める

私たちは、野生生物から何を学ぶのか? 観て、触れて、考える機会をお届けします。

ワイルドライフ・セミナー

自然環境や野生生物に関する、より深い体験と理解を求め、保全活動にも興味のある方には、ニホンザル、ツキノワグマ、カモシカなど、テーマを絞り込み、科学的なアプローチを交えた、セミナースタイルのフィールド研修も用意しています。
・山梨県早川町「南アルプス生態邑」等

■ 生態旅遊/生態教育交流研修ツアー

国内外の様々な地域に出向き、地域固有の野生生物や文化にふれる各種のエコップーを実施。さらに環境教育の先進地を訪ね、現場の現状の視察や、市民団体との交流など、より専門的な研修ツアーも企画しています。

・サンフランシスコ、フロリダ、イギリス、ロンドン、ドイツ、台湾、香港等



人と自然、人と生きもの、人とひと さまざまなつながりと関わりを考えます。 「知っていること」から「責任ある行動」へ その道案内のできる人を育て 人と野生生物のつながりをテーマに 持続可能な社会を目指します。

■プロジェクトワイルド指導者養成講座

世界的に最も定評のある、生きものに焦点を当てた体系的 な環境プログラム。体験学習法や合意形成の実習を通して 体験からの学びを提供できる人材を育てます。

・南アルプス生態邑、自然発見館、 堺自然ふれあいの森 等



■乳幼児プロジェクト (保育ナチュラリスト資格認定機関) 2012~



子どもたちへの自然体験・環境教育プログラムの提供と共に、「自然が一緒に育ててくれる」そう感じられる大人の育成、園庭・公園などの身近な環境づくりに取組んでいます。保育ナチュラリストの資格認定や自然を通じた子育て支援等、「自然と共生する地域づくり」の大切な基礎となるこのプロジェクトは、様々な分野の方との協働によりひろがっています。

● 教材の企画製作・貸出・頒布 ● 政策提言

生息地のジオラマがついたシジュウカラやノコギリクワガタなどのペーパークラフト、ハンズオン型のハビタット・パズルなど教材の企画製作や、貸出・頒布を行っています。

国や自治体の環境や野生生物に関わる施策に関して、生態教育場からの提言を行います。

•東京都環境審議会 等